

作成日：2017年7月31日

部門	J S B 競技部会
会議名	都道府県社会人バスケットボール連盟設立部会長会議
開催日時	2017年7月29日(土) 13:30-16:30
開催場所	J B A 会議室
出席者	都道府県社会人バスケットボール連盟設立部会代表者(別紙出席名簿参照) 出席：44都道府県代表、 (欠席：事前に日程調整がつかず連絡があり欠席となった3県) (一社)日本社会人バスケットボール連盟 競技部委員 佐藤副会長、門川専務理事、山花理事、安保理事、小西事務局長 (競技委員会委員) 三澤委員、川武委員、宇田津委員、杉浦委員、 (敬称略)
内容	<p>1. 受付(13:00~)</p> <p>(1) 旅費の精算(精算書の受領) 会議次第に基づき部会長会議を開催</p> <p>2. 都道府県設立部会 部会長会議 挨拶・・・副会長 佐藤 昭 (会議説明資料)・・・司会(小西事務局長)</p> <p>3. 地域リーグ戦チーム参戦状況と実施方法 (1) チーム参戦状況について・・・三澤競技担当委員 別紙資料に基づき説明(参戦状況表、打合せ状況報告書) (2) 予算・スケジュールについて・・・小西事務局長 別紙資料に基づき説明(8月末日途にブロック内のスケジュール、予算の提出を依頼)</p> <p>4. 質疑応答 質疑応答については説明毎に時間を取ってご意見を伺った。</p> <p>① (秋田県) 地域リーグの参戦希望のチームに対してヒヤリングはしないのか?・・・ブロック内でのチーム数の基本を6~8チームとしておりそれを超えた時にはヒヤリング等の調整を考えていたが少ないブロックでは是非地域リーグを実施したい思いもありヒヤリングを省略しているが、ブロック内打合せ等で各都道府県の皆様の判断で調整はしていきたい(都道府県での承認をお願いしたい)。</p> <p>② (熊本県) 地域リーグの予算は各県ごとに必要か?・・・ブロックでの予算策定でありブロックリーグを中心にブロックで検討し提出をお願いする。</p> <p>③ (滋賀県) 全国に繋がる大会が少なくなった。・・・まずは社会人連盟としてスタートさせて欲しい。その後認定大会等含めて検討はしたい。</p> <p>5. 今後の進め方 (1) チーム・競技者登録について・・・山花競技部長 別紙資料 VOL.02 2017.07.27 チーム・競技者登録について に基づき説明 (2) 競技要項(案)について チャンピオンシップ・選手権大会・オーバーエイジ・エンジョイ等の大会要項に説明。 (3) 2018年競技スケジュール 別紙資料競技スケジュールを提示し、その予定に沿った活動をお願いした。</p>

<p>同時に主催大会開催地候補地一覧表も提示し合わせて会場確保への協力もお願いした。</p> <p>(4) 都道府県リーグ戦実施状況(事前調査)と予算・・・小西事務局長</p> <p>別紙資料約60%の部門が何らかの形でリーグ戦を実施はしているが今後の一層の推進が必要となる。都道府県社会人連盟が組織化される(12月を目途に)タイミングで計画を加速して欲しい。また都道府県のリーグ戦等についてはJBAのD-fundを利用できるので是非計画の中にその仕組みを取り入れて進めてほしい(本日の資料の中にJBAのD-fundの説明資料の抜粋も入れていますので理解を深めて欲しい)。</p> <p>6. 質疑応答</p> <p>① (新潟県)登録の申請手順について・・・チーム登録⇒選手が自身で登録⇒チームとしての承認</p> <p>② (熊本)(富山)(徳島)(和歌山)高校生・大学生の移籍について資料以外でも特異なケースもあり慎重に検討して欲しい・・・JBAの移籍の規定もあり整合性を含めて検討を進める。またJBAとしても新しい登録システムの稼働について説明があると思われる。そのタイミングで移籍等について都道府県協会で調整して欲しい。</p> <p>③ (沖縄)専門学校についても同様に適用するのか・・・現状はそこまでは考えていない。高校生・大学生の選手が早く引退してしまったことに対する対応がメインの考えになっている。</p> <p>④ その他にも(茨城)(青森)より、親の同意書の件や部活に入部していない選手等の配慮も必要との意見があった・・・移籍項目の高校生・大学生の移籍については、JBAとの調整も含め更に検討を続けることにした。</p> <p>7. 地域リーグ・ブロック大会の審判について</p> <p>別紙資料にて説明・・・宇田津審判部長</p> <p>8. 都道府県社会人連盟設立について(スケジュール)</p> <p>門川専務理事より12月をめどに設立ができるようにスケジュールを立ててほしいと要請。組織については法人化の必要はない任意団体で良い。</p> <p>9. その他</p> <p>最後にブロック別の打ち合わせを行った。</p> <p>地域リーグの検討・運営は、ブロック連携の活動が重要かつ難しい面もある。都道府県の委員によるブロック委員会として活動したほうが、運営がよりスムーズにいくとの声もあり、より実務部隊の活動ができる委員会の活動を進めて行くのも一つの方法になる。</p> <p>まだ、検討課題も多くありますが、さらに検討を重ね改善してまいりましょう。今後ともよろしくご協力をお願いいたします。</p>					
作成日	2017年7月31日	作成者	小西道雄	承認者	—
備考					